



私たち静岡コンクリート診断士会はコンクリート診断を通して  
社会に貢献することを目指しています。  
高度経済成長期に構築された社会資本の荒廃を見過ごすことはできません。  
新しい構築物はより長く使うことが求められるようになりました。

**お役に立てる準備はできています。**

是非ご相談ください。コンクリート構造物は社会の財産です。

#### 入会のご案内

- 本会の入会資格は次の通りです。

正会員	本会の目的に賛同する県内在住の個人、または勤務地が静岡県内に所在し、公益社団法人日本コンクリート工学会に登録された「コンクリート診断士」とする。
賛助会員	本会の目的に賛同して入会した個人、法人または団体とする。

- 年会費は以下のとおりです。

正会員	個人:5,000円/年	
賛助会員	法人:10,000円/年	個人:5,000円/年

※入会申込書は、当会ホームページよりダウンロードしてください

## 静岡コンクリート診断士会

Shizuoka Concrete Diagnosis association

設立 2006/12/16

事務局 株式会社 中村組 内  
〒430-0906 浜松市中区住吉 5-22-1

MAIL info@scd.gr.jp

HP http://www/scd.gr.jp/



※私共は(一社)日本コンクリート診断士会(JCD)に加入しています。www.jcdnet.or.jp

コンクリート構造物の正しい保全が求められる現代、私たち診断士の力が必要となっています。

静岡コンクリート診断士会

Shizuoka Concrete Diagnosis association

# Concrete Dr.



Since 2006

### 活動内容

1. コンクリート診断技術の向上を目的とした研究活動
2. コンクリート診断技術の会員への提供及び会員相互の親睦
3. コンクリート診断士の社会的地位の向上に関する活動
4. コンクリート診断や長寿命化の相談
5. 研修会や講習会等への講師派遣
6. JCD 等関係団体その他諸機関との連絡協調に関する事業
7. その他本会の目的のために必要な事業

### 活動方針

#### 社会に対する貢献

公衆の安全、健康及び福利への責任を常に自覚し、偏りのない公正で確かな判断と適切な維持管理を提案することで、人類の持続可能な発展に貢献します。

#### 自己研鑽・技術継承

高度・多様化する専門知識、診断技術および高い論理感などを継続的に研鑽するとともに知識や経験などを生かして、次世代を支える後進への指導・援助を積極的に行います。

#### 責任ある行動

法律の遵守と基本的人権を尊重し、自己責任のもとに公正・誠実に行動します。

#### 自己研鑽・技術継承

技術的知見や情報を会員相互で共有するとともに、(公社)日本コンクリート工学会や他都道府県の診断士会との連携により情報の交換や交流を図ります。また、活動の内容や成果は常に中立的、客観的な立場ですべての人々にわかるように説明します。

# Concrete Dr.

コンクリートドクター

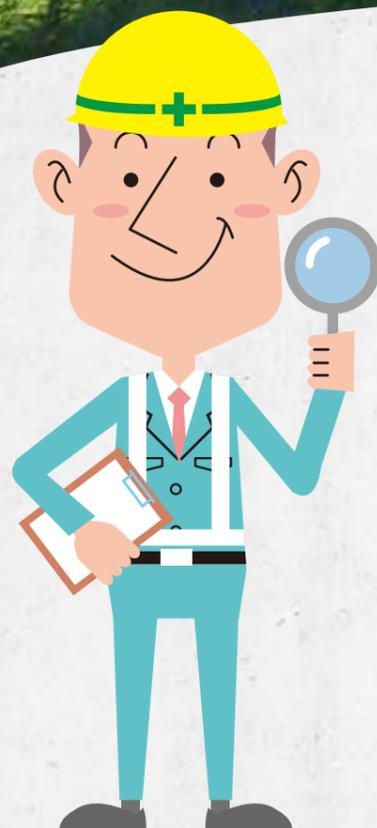
### コンクリート診断士とは

コンクリート診断士は、公益社団法人日本コンクリート工学会が実施する講習会を受講し、さらに試験によって相応のレベルのコンクリート診断・維持管理の知識・技術を保有していると認定され、さらに登録した者に与えられる名称です。

a concrete diagnostic engineer とか a concrete maintenance engineer や時には分かり易く a concrete doctor と呼ぶことがあります。

### 静岡コンクリート診断士会とは

主に静岡県で活躍するコンクリート診断士の有志により「コンクリート診断技術の普及・コンクリート構造物の維持管理に貢献すること」を目的に設立された団体です。



### 我が国の社会資本の状況

#### インフラの状況は・・・

昭和 30 年代の高度成長期に建設された社会資本が築後 50 年以上をむかえ、急速に老朽化してきた

#### 社会経済状況は・・・

少子高齢化をむかえ、社会保障費の増加により、建設投資額が減少し簡単には社会資本を更新できない

#### 限りある予算を有効に・・・

LCC の減少、予算の平準化を期待して、事後保全(補強・補修)から予防保全(メンテナンス)に移行しようとしている

国土交通省は「社会資本老朽化対策推進室」をもうけ平成 25 年を「社会資本メンテナンス元年」と位置づけた。

メンテナンス・エンジニアの  
役割が重要になってきた